

1 中学年の実践

つかむ（課題把握）

- 児童の知的好奇心や探究心をくすぐる課題の設定
- 既習事項との関連を促す学習環境の工夫

■ 4年生単元「計算のきまり」での導入場面。「校長先生からの問題」などと設定することで、意欲を高め、自力解決につなげていった。



■ 4年生単元「大きな数」での導入場面。電子黒板とデジタル教科書を活用した課題提示で、場面状況をつかませ、「解きたい」という意欲を高めた。



■ 4年生単元「計算のきまり」での導入場面。「チョコレートは何個あるかな」と、「考えてみたい」、「解いてみたい」と思わせる導入の工夫を行った。

もどめる（自力解決）

- 既習事項や先行経験を想起する場の設定
- 自分の考えを明らかにするたっぴーシートの活用

■ 既習事項を掲示し、見通しを持たせた。



■ 自分の考え方を、ノートやシートに分かりやすく図や式で表し、説明できるようにした。

ふかめる（共同解決）

- ペア学習の学び方を示す
- 全員で考える場を共有するICTの活用

ペア学習の仕方

【目的】 友だちの考えを聞きながら、自分の考えを説明し、お互いの考えを深め、共有する。

【話し方】

自分の考えを説明し、友だちを助ける。
 言葉・式・図などを使いながら
 順序よく説明する。
 「まず、つぎに、そしてつぎ」
 「だから、です。」
 友だちの考えを聞きながら自分の考えを
 深め、共有する。
 「一歩ずつ、」「ここまではどうですか。」
 友だちの考えを聞きながら自分の考えを
 深め、共有する。
 「〇〇さんについて、教えてください、お願いします。」

【聞き方】

①友だちの考えを聞く。
 ②友だちの考えを聞きながら自分の考えを
 深め、共有する。
 ③友だちの考えを聞きながら自分の考えを
 深め、共有する。
 ④友だちの考えを聞きながら自分の考えを
 深め、共有する。
 「もう一度確認してください。」
 友だちの考えを聞きながら自分の考えを
 深め、共有する。



■ノートやシートを指し示しながら、お互いの考えを分かりやすく伝え合った。



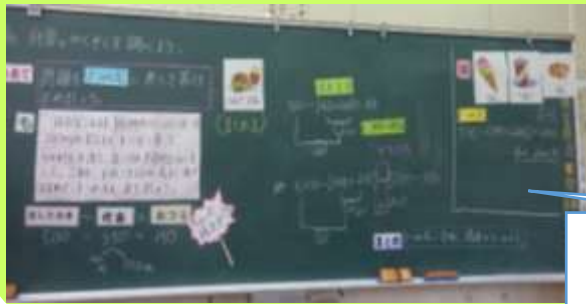
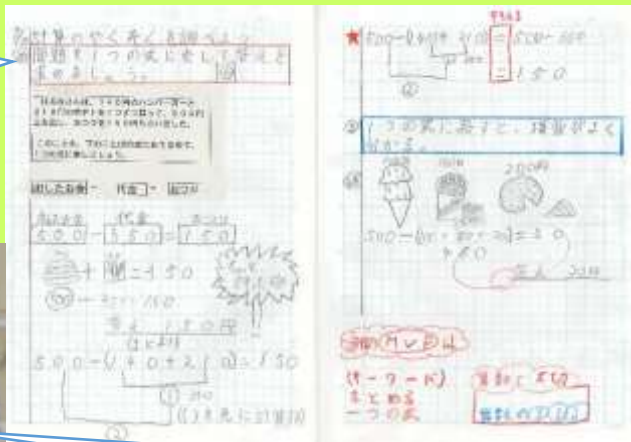
■書画カメラや電子黒板を使って説明することで、友だちの考えと自分の考えを比べて聞くことができ、自分では思い付かなかった新たな考えに気付くことができた。

■まず式のみを発表させ、式から考え方を読み取らせることで、新たな解決の方法を獲得できるようにした。

まとめる（まとめ・習熟）

- 学習の振り返り
- 適用問題の時間の確保

■見開き1ページで1時間のノートを作る。「めあて」「まとめ」「感想」などを見やすく整理し、学習の振り返りに生かす。



■まとめの後の適用問題で、本時の学習の定着を図る。

成果(○)と課題(●)

- 導入では、担任外の先生たちからの問題としての課題設定や、デジタル教科書などのICTを効果的に用いることによって、子どもたちの学習意欲を高めることができた。
- ペア学習では、図を指さしながら立式の根拠を順序よく説明することが回数を重ねるごとに上手になった。
- 全体で深める際に自分の考えを言葉で説明することには、まだ苦手意識がある。そのため、1人の考え方を別の児童に自分の言葉で説明させるなど、児童同士でつなげて説明するような機会を多く取り入れていく必要がある。